



いいこっつお

教育長のつづやき

No.36

2025. 5/21

今年の方がすごく楽しみ！

C:「先生、今日音楽は僕が流しますか?昨日家で編集してiPadに入っているんですが…」

そんなことまで、小学生が準備してくれているの!!すごい!!と授業前の会話を聞きながら、4時間目の体育の授業が楽しみになった。授業が始まり…

T:「先生も、運動会についてだんだんわかってきました。みんなの目標は何だっけ?」

C:「みんなで決めてみんなでやる!」

T:「そうだよね。そのためには自分がわかっていないとダメだよね。そこで今日は、皆さんが自分の動きについて自分で確認してもらいたいと思います。」

このような出だしから始まった運動会の練習。運動会まであと3日です。「だんだんわかってきた」の言葉にあるように、先生方が作っている運動会ではないため、先生方も細かな部分ではまだ把握できなかったり、詳しく決定していなかったりする部分があるのだろう。しかし、ようやく形になってきたので、先生方の指示ではなく、自分たちが少しでも動きやすいようにと考え、体育専科のS先生はこの時間を設けてくださったのだと分かった。体育の先生をはじめ、各担任にとっても練習が例年のごとく手際よく進んでいるわけでもなく、こんなギリギリになってもこの状態で大丈夫?と精神的に少しイライラする運動会前の数日間ではないだろうか。

「次に、先生が各競技のシートを作ったので、そのシートにマークするなり名前を書くなりして自分で動けるようにしておいてください。」

そうすると、S先生は4年生以上の児童全員にとじ込んだプリントを配布した。なんとその数1人当たりA4版18枚!このシートをもとに、各競技の準備の動き、競技参加の動きや立ち位置をマークしたり、名前を書くように指示が出た。これが2つ目のS先生の自分たちが主役で主体になるための運動会の手だて。

同じ縦割り班で話し合いを進めているのだが、その中でも「僕、分からない!」という発言も聞かれた。早速同じ班のメンバーが教えてあげる様子が…。そしてその後は「わかった!ありがとう!」という言葉も。協働的な学びの瞬間でもあった。

6年のAさんに「今年の運動会はどう?」と尋ねてみた。「楽しいけど、すごく大変!自分たちでやるので楽しい方がいいけど、チーム分けがものすごく大変だったし、案を出す時に先生たちにも助けてもらった。今までの運動会よりとにかく大変。種目決めはあまり大変では無かったけど、ルールやチーム決めがとても大変だった。でも今年の方が今までより楽しくなりそうで、すごく楽しみ。」

先生方のスタンスは運動会に限らず、今まではどうすれば身につくか、早くわかるか・覚えるか、動けるようになるのかに比重がかかっていた。しかし、子どもの発言からもわかるように、今年はそうでなく、いかにすれば自分で動けるようになるか、教師の力を借りずに自分たちだけでできるかを考えた支援をしてきている。そのためのシートであり、教師の出が本時では顕著であり、どの先生も同じスタンスだった。

また、子どもたちも、「自分たちが創る運動会」を強く意識している感じが感じられてうれしい。数日前にあたる今日でさえも細かな部分は見えていないところが多いと予想する。それが当日出来栄えとしてだけ評価されては大変かわいそうであり、子どもたちの成長や新たなやる気を無駄にしてしまう。今年のような積み重ねが数年続くことにより、上級生の姿から学び、改善点を見つけ、下級生を育て、数年後には競技も準備も自分たちでできる範囲で自分たちが主体の運動会を創り上げてくれるものだと信じたい。とにかく今年は「過程を大切に」と学校には伝えてある。今までの歩みは、こちらが予想した以上の成果を残していると判断する。

「みんなで学校を創ろう!」の会の中で子どもたちが話し合いによって創っていく学校、という話をしたところ、「子どもたちの負担が大きい」という発言をする方がいた。確かに今年の運動会に向けては、「高学年や中学生がヒーヒー言っていて、休み時間を使うのは当たり前になり、家でも運動会のことをやっている姿がある。今までの種目を中心に進めているので準備にも時間がかかっている。」というT教頭先生の話も伺った。様々な部分で改善が必要であるし、工夫も必要なのは言うまでもない。しかし、今年は子どもたちが主体的に取り組もうと一生懸命であり、私が当初考えていた動きや思いより2年ほど速いスピードで進化している。これも4月から共に生活している良さであると共に、各先生方も同じスタンスで子どもたちと向き合ってくださっている成果なのだと感じる。本番も楽しみだ。

